

# 子育て支援連絡協議会だより

## ★平成20年度子育て支援の取り組み

朝日町子育て支援連絡協議会は、「仕事などの社会的活動と子育てなどの家庭生活との両立を容易にするとともに、子育ての負担感を緩和し、安心して子育てができるような環境を総合的に推進するため、地域の子育て支援を実施することにより児童などの福祉向上を図る」という目的で設置されています。メンバー構成は、右記のとおりです。平成20年度は

### ①子育て支援計画の充実

広報あさひによる情報の発信とともに、各子育て関連機関の連携を図り、様々な子育て支援を行っていきます。

### ②子育てワンポイントアドバイスの継続

こころの相談員によるワンポイントアドバイスを今後も継続して広報あさひに掲載します。

### ③あさひプチボラ（子育て支援）事業の充実とボランティア育成

あさひプチボラは、「児童全般対象」と「障がい児対象」の活動を行っています。随時、ボランティアの登録の募集を行っています。（お問い合わせ先：町民福祉課377-5652）

#### ●児童全般対象プチボラ事業計画

1. 学童保育所夏休み・冬休み期間支援事業
2. 菜園体験支援事業
3. 親御さん対象の座談会の実施

#### ●障がい児対象プチボラ事業計画

1. 夏休み・冬休み期間支援事業
2. 講演会の実施
3. 障害児との交流会
4. 雑巾や布ぞうりを作成し、ひまわりバザールなどで販売する
5. ボランティアの育成・充実

### ④朝日町障がい者自立支援センター（ほっとくらぶ）活動の充実

詳細については、広報あさひ5月号に掲載します。



## 「子育てワンポイントアドバイス」

### 第28回 「子どもの発するサイン」

こころの相談員 小林 節子

子どもたちが新しい環境へ踏み出す季節が巡ってきました。環境への適応力やスピードは子どもによって千差万別です。子どもの気質、心身の発達の度合い、経験の多少など色々な要因が影響するからです。そのことを親はわかっていながら、つい他の子と比較して、わが子に対して否定的な見方をしがちです。子どもを信じて見守りましょう。

ただ、子どもは自分の心に不都合なことや葛藤が起きたときに、言葉で十分にそれを表現することが出来ません。また、その葛藤を意識すること自体が困難なため、無意識の問題行動を起こしたり、心の問題が体の不調やチック、夜尿などの症状となって現れることがあります。『子どものサイン』を見逃さないようにし、心配なことがある場合は、先生や相談員に率直に相談してください。

このように述べると、あれもこれも子どものサインではないかしらと不安に陥りやすい方もいますが、大丈夫です。とにかく気軽にお話を聞かせてください。

\*小林相談員は、朝日保育園・幼稚園、カンガルーあさひで相談活動を行っています。

## ★第8回「4月から変わります！妊婦健康診査の公費負担」

朝日町では、少子化対策の一環として、積極的な妊婦健康診査の受診をはかるため、妊娠中の健診費用の負担軽減に協力させていただくこととなりました。これまで、妊娠中の健診への公費負担は妊娠前期・後期に1回ずつの計2回分(14,070円)でしたが、平成20年4月より計5回分(31,550円)の公費負担になります。また、健診項目に超音波検査と貧血検査が追加され、より適切な健診が受けられます。平成20年4月までに母子健康手帳と一緒に『母子保健のしおり』（妊婦健康診査受診券）をお受け取りになった方は、追加の回数分をご自宅に送付します。

やがて誕生するお子さんのすこやかな成長のために『母子保健のしおり』を持って、妊婦健康診査を受けに行きましょう。妊婦健康診査受診券は三重県内のみで使用できます。

交通機関での席のゆずりあい、受動喫煙防止などみんなで

「妊産婦にやさしい環境づくり」に参加しましょう。



マタニティマーク

# 朝日町の子育て支援 ～みんなで支え合う子育ての町～

